



幼稚園だより 子ぎつね コン

一関市立狐禅寺幼稚園
電話：21-2177
令和3年4月21日
NO,1 文責 千田智明

入園・進級おめでとうございます

今年は春の訪れがとても早く、おかげさまで満開の桜の下で入園式を行うことができました。記録的な大雪だった冬の後には、記録的に暖かな春がやってきたというところでしょうか。入園・進級の園児の皆さんおめでとうございます。狐禅寺幼稚園では、新たに5名（年少4名、年中1名）の園児を迎え新しい年度がスタートしました。今年度は、年長のにじ組が単独学級、年少のほし組と年中のつき組が混合学級となり、全園児23名です。今年度も当面はコロナ対策で、園児の健康安全確保にあたっていくこととなります。どうぞ、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。



令和3年度 幼稚園の経営について

【一関市立幼稚園教育の方針】

家庭及び地域との連携を密にしなが、幼児一人一人の実態に基づいた幼児教育を進め、「生きる力」の基礎や小学校以降の学校教育の基盤を培う幼稚園教育の推進に努める。

上記の市の方針を受けて、狐禅寺幼稚園では次のような教育目標を掲げ、その具現に努めて参ります。

1. 基本目標・・・元気でなかよく

2. 具体目標

- ◇自分のことは自分でできる子
- ◇友達となかよく遊べる子
- ◇明るくたくましい子
- ◇よく聞き、考え工夫する子



3. 学年目標

- 3歳児：園生活のリズムが分かり、先生や友達とふれあい、安心して自分の遊びを楽しむ。
- 4歳児：自分の思いを出しながら友達とかかわって遊び、遊びの経験を豊かにしていく。
- 5歳児：自分の力を発揮しながら、友達とかかわりを深め、共通の目的に向かい協力して活動や遊びに取り組む。

3年保育の経営において、幼児期にふさわしい環境を与え、主体性や他者への共感性を育み、調和のとれた心身の発達を促すために、以下、6項目を経営の重点とします。

- (1) 基本的生活習慣や安全な行動の育成
- (2) 幼児教育の特性をふまえた園児一人ひとりの個性の伸長
- (3) 共同性を育む保育
- (4) 生活や学びの連続性を大切にされた家庭・地域・小学校との連携
- (5) 個と発達年齢にかかわる保育指導法の研究
- (6) 教育内容の充実を図る学校評価の充実
また、今年度の指導の重点として
 - (1) 園内研究や自己研修の充実と指導力の向上。
 - (2) 体力の向上、食育、言語の指導の充実
 - (3) 異年齢学級の指導の工夫改善
 - (4) 特別支援教育の充実
 - (5) 家庭、地域、小学校との連携強化